



週報

VOL
XVI

佐 沼 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

例会場 七十七銀行佐沼支店ホール TEL(2)-2577
例会日 毎週木曜日 12.30~13.30
事務所 振興相互銀行佐沼支店 TEL(2)-2547

会長 千葉重雄
幹事 大河内 清
週報 白石謙造 村上武彦 小林忠秋
阿部正美 秀 義弥

第786回例会
第787回例会

合併号

1980. 5. 15

1980. 5. 22

No.36

第786回例会(新入会員歓迎会 於・小竹) 1980. 5. 15

- ◎ 本日の出席率 36名全員出席 出席率100%
- ◎ 会長要件

本日は、会場、時間を変更いたしまして、新入会員の田口富士雄さん、高橋和夫さん、熊谷仁治さん、以上お三方の歓迎会を兼ねた例会を行うことに致しましたところ、会員皆様には夜間のところ多数ご出席いただきましてありがとうございました。

新入会員の方々の経歴、人格につきましては、前回の例会で推せん者の会員から詳細なご紹介がありましたし、また、地域における従来のご立派なご活躍ぶりを拝見いたしましても、まことに非の打ち所のない方々ばかりでございます。どうか1日も早く当クラブの雰囲気にお慣れいただきまして存分ご活躍下さいませようお願い申し上げます。

本席は十二分にご懇談下さい。なお、熊谷新会員は、本日は余儀ない用事のため欠席されております。せっかく歓迎会をしていただくのに大変申し訳ないということで、皆様によりしくというご伝言がございましたので、ご謙承下さるようお願い申し上げます。

- ◎ 田口富士雄新入会員の挨拶

本日は、私共のためにこのような席を設けていただき大変恐縮いたしております。入会の決意につきましては、先週の例会の席上で申し上げましたので詳しくは申し上げませんが、1日も早く皆様の奉仕の精神に近付くよう頑張りたいと思っておりますので、よろしくご指導下さいませようお願い申し上げます。本日はまことにありがとうございました。

- ◎ 高橋和夫新会員

田口会員同様、私からも厚く御礼を申し上げます。何せ出身地は近くの古川でございますが、故郷を離れて数10年にもなりまして仙北地区は不案内でございます。何分共によりしく御指導下さいませようお願い申し上げます。

ロータリーにつきましても、先程の会長さんのお話の通り早く佐沼の空気に慣れまして頑張りたいと思っておりますので、よろしく御礼申し上げます。

—以後、歓迎懇親会に入り、午後8時解散—

第787回例会 1980. 5. 22

- ◎ 本日の出席率 36名中26名出席 *77.77%
- 欠席会員 田口会員、熊谷会員、及川会員、西原会員、若見会員、狩野会員、布施(孝雄)会員、鈴木会員、遊佐(新)会員、村上会員

- ◎ ニコニコボックス

- 高橋和夫会員
先週歓迎会をしていただき、ありがとうございました。
- 田口富士雄会員
交通安全功労者として県警本部長賞を本日受賞されました。大変おめでとうございます。
先週歓迎会をしていただき、大変ありがとうございました。

- ◎ 会長要件

台風の影響で昨夜から豪雨が降っておりましたが、只今はすっかり晴れ上がって大変良い天候となりました。会員の皆様には今日もお元気でご出席下さいましてありがとうございます。

先週は会場と時間を変更し、新入会員の方々の歓迎会を開催したわけですが、お陰様で和気あいあいの雰囲気のうちに終了させていただきました大変ありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。

本日のプログラムによりますと、国際奉仕委員会のフォーラムになっておりますので、国際奉仕委員長さんよろしく御礼申し上げます。

- ◎ 幹事報告

- 今月の23日に親睦委員会の企画によるレディス会が開催されます。場所は松島の田里津庵で、今回は参加者が18名という盛況で、回を重ねるごとに発展しているようで大変喜ばしいことだと思います。会費は5,000円、車代を別途負担していただくのも大変だと思ひまして、クラブ負担ということも考えてお諮りしたのですが、太田会員がマイクロバスを提供して下さいということで、大変太田会員には申し訳ありませんが、ご好意に甘えさせていただきますしたいと思います。

◎ 壹岐親睦委員長

○今月のレディス会につきましては、ただ今幹事報告にありました通りですが、会員皆様のご協力により奥様方多数ご参加下さいまして大変ありがたく心から御礼申し上げます。なお、太田会員のご好意につきましても、心から御礼申し上げます。大変ありがとうございました。

○先日の沼津市米山記念館訪問ツアーにつきましては、すでに先週の例会で千葉春男会員と小山会員から詳細にわたってご報告がありましたので、私からは細かい所は省略させていただきますが、いずれに致しましても、小山会員のお話しにもありました通り、ロータリアンとしての誇りと、その良さを、今度のツアーを通して再認識して参りました。沼津北RCの会員に心から歓迎していただき、夜の懇親会も12名の会員に参加していただきまして心から打ちとけあった話し合いができました。ロータリアンの良さを改めて噛みしめて帰ってきた次第です。沼津北RCの発展を遥かにお祈りするとともに、同行していただきました会員の方々のご好意ご協力に対して心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

◎ 秀社会奉仕委員長

迫川河川敷公園の菖蒲移植のことにつきまして皆様へお願い申し上げます。予定では18日の第三日曜日に協力団体がいっせいに花壇への植え付けをする予定でしたが、花壇の中の土の入れ替えの都合上、今度の日曜日25日に延期になりました。午前6時集合、移植ベラや、下がぬかっている恐れがありますので長靴ご持参の上、多数ご参加下さるよう特にお願ひ申し上げます。菖蒲は橋の下に仮植えしてありますので、それを当クラブ割当ての花壇の中に移植していただく訳ですが、技術的なことは、千葉春男会員と二階堂会員によくお願い申し上げます。

◎ 国際奉仕委員会フォーラム(布施国際奉仕委員長)

先頃、白石RCから「難民と飢餓とヒューマンズム」という小冊子が送られてまいりました。白石RCの上西寛一さんという方の書かれたものですが、それと一緒に、難民飢餓基金募金趣意書と難民飢餓基金からのお願いという文書が入っておりまして、白石RC会長の島本昭雄氏と、同難民対策委員長の上西寛一氏の名前になっております。内容の一部をご紹介します。

「昨年は国際児童年であったが、今年も又来年も国際児童年であるような情勢であることは一般的に強く認識せられているところであります。世界中の子供達は15億人といわれ、その内の10億人は開発途上国の子供達であり、その内5億の子供達はインドシナの難民も含めて戦争や内乱におびやかされ、いま猶、飢えや病気、貧困で苦悩の生活を強いられています。この様な状況は現在の日本では理解し難いものです。暖衣飽食とまでは行かなくとも、日本の子供達は何んと幸せな存在ではないでしょうか。現在の日本に於いては乞食も見られなくなり、第二次世界大戦の終戦後ユニセフより贈られて来た脱脂粉乳や小麦粉で十数年間に亘り学童が「飢えを凌いだ、あの当時を忘れてしまっているのではないのでしょうか。

この悲惨な状況下において、生存権を何とか維持させて、喜びも悲しみも災いも忘れ表情に出さなくなった「野生動物化、して可愛そうだななどと言われる子供達に、温かい救援の途を講ずるのが日本国民の責務であり、経済大国とまで成長し、なお人権条約の批准の年でもあり、「人間対人間の倫理、として人道主義的な救援をするため、難民飢餓基金を設定して、広く一般社会に訴えたいのであります。」

という内容で、これは白石RCがクラブ内に難民対策委員会を設けまして他クラブにも呼びかけるという独自の運動のようです。更に

「世界的に出現する難民、飢餓問題を人間主義的人権問題として取り上げ、ヒューマンステイックな「人間対人間の倫理」の救援問題として検討することにして、白石RC内に「難民飢餓基金」が創設され、RIの3Hプログラムとは別個に白石RC独自の性格を持ったものであり、白石RCの会員は勿論のことロータリアン以外からも一般社会に訴えて基金を造成して、ヒューマンズムに基く実効性ある世界的問題としてクローズアップしているインドシナ難民救援その他に役立てたいと思って居りますので、会員各位の心からの御理解と御協力をお願い申し上げます。」ということなのです。

いかがなものでしょうか。当クラブでも、白石RCのこの呼びかけに応じて、何らかの形で協力するかどうか、皆様のご意見を伺いたいと思存じます。

趣意書は以上の通りですが、上西氏が書かれた「難民と飢餓とヒューマンズム」の内容の一部をご紹介します。

—省 略—

いろいろなことが書かれておりましたが、これら開発途上国の難民や子供を救う途はいろいろあると思います。この白石RCの呼びかけに対しても、どうするか、これからいろいろ検討し、皆様のご意見を伺って当クラブの態度を決めたいと思存じます。

更に皆様のテーブルの上にあります「愛の1日3円献金」の募金缶の開缶を来月に行いたいと思存しております。ユニセフの募金の方に献金する予定ですが、缶のラベルにも書いておられます通り、ロータリーの奉仕の精神は「他人の痛みを知ろう。人の痛みを知ろう、ということから始まるのだと思います。来月第2週に回収いたしますので、ご家庭や職場に缶をお持ちいただいている会員は、その節ご持参下さるようお願い申し上げます。

◎ 氏家(康)会員増強委員長

今年度の会員増強もいよいよ最終の段階に入りましたので最後の詰めをどうするかということに現在考えております。ただパスした予定者に、従来のように推せん者1人でだけ接衝しても、なかなか良い結果が得られないと思いますので、1人の予定者に3人ほどの、その予定者と親しい会員を貼り付けて、推せん者と4人のチームを組んで接衝していただければ……と思存しております。現在、そのメンバーの割り振りを行っており、来週の例会には、それぞれの方にお願ひできると思存します。その節は何分よろしくご協力のほどをお願い申し上げます。